

シリア政府軍が、東ホムズに ISIS の“化学施設”を発見

【記者注】シリア政府軍が、化学兵器を使っているのではない証拠はいろいろあり、これはその究極の証拠と思われる。犯行者は、ここで言っているように、テロリストに武器を与える米 - 連盟国でしかありえないが、彼らはそんなことはお構いなく、トランプも就任早々、ポンペオ CIA 長官に言われる通りに、“自国民を殺す残酷なアサド”への処罰をし、ヘイリー国連大使も、恐ろしい剣幕でシリアの犯行を主張した。

せめてテレビ画面から、「シリア紛争で最も悪いのはアサドです」などと、自信をもって言うのはやめるべきである。

Arabi Souri

Global Research, October 19, 2017

Syria News, <http://www.syrianews.cc/saa-discovers-isis-chemical-homs/>



Homs 東部で発見された化学薬品（ソース：Syria News）

シリアのテレビ・チャンネル、Sama TV が、SAA（シリア・アラブ軍）に随行して、ホムズ地区東部の村落に入ったとき、SAAはこの化学施設を発見し、下の報告を放送した。

<https://www.bitchute.com/video/ugtZOp54OFAD/>

Sama TV 報道の書き下ろし：――

シリア・アラブ軍の英雄たちと、ホムズ東部の技術者チームによる綿密な搜索は、この地方の ISIS テロリスト組織の最後の残党がいなくなった後も、続いている。搜索活動

中、al-Rabia 村のテロリストの要塞の一つに、専門家たちが、あるワークショップを発見した。そこには、テロリスト集団が犯罪活動に使った、100 種類以上のプライマリー化学薬品が含まれていた。

Jib al-Jarrah の東地域を捜索しながら、テロリストのおぞましい残留品を清掃中に、彼らは、プライマリー化学物質の置かれた大きな施設が、アルラビア村の、テロリスト要塞の内部にあるのを発見した。これは、害のない市民に対し、また、その領域で活動するシリア・アラブ軍に対して使うことのできる、多くの危険な物質を製造するのに使えるものだった。

幅広い規模の機械や、これらの物質の処理や使用のための器具類に加えて、薬品や機械の中でも最も目立つのは、濃縮塩化物、97%に濃縮された硫酸、リン酸、アンモニア溶液、ジクロロメタン、酢酸、過リン酸石灰肥料…だった。

特筆すべきことは、これらの化学物質や器具は、高度な専門家でなければ扱えないことである。

現在は、強力で正確な軍事作戦によって、これら武装集団は敗退し、有能な専門家によって、これら化学物質は十分に保管されている。

我々は、西側メディアがシリア国家を非難し、化学物質を使っていると躊躇もなく言っていることを知っている。しかし問題は、これら西側諸国とサウジの支援するテロリストたちが、どうやってこのような物質を手に入れたのかということだ。 西側と彼らの同盟軍たちは、テロリスト、特にヌスラ・フロントと ISIS に、最も進歩した武器や弾薬をずっと供与してきた。ガス装置も、当然その一部であろう。—Afraa Dagher

<http://www.syrianews.cc/washington-arming-isis-nusra-front-syria/>

<http://www.syrianews.cc/us-coalition-armed-isis-nusra-front/>

以上